

□ 要請番号 (JL04825B23)

募集終了

9

国際社会貢献の
基盤をつくらう

| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------|----------------|--------------|------|----|------|----------------------------------|
| ブータン | G151PCインストラクター | 20～45 歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | ・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

エネルギー・天然資源省 森林公園局

2) 配属機関名（日本語）

ウゲンウォンチュク森林研究・研修所

3) 任地（ブムタン県ラマイゲンパ） JICA事務所の所在地（ティンブー市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 8.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属機関は2004年、「ウゲンウォンチュク環境保護研究所」として設立された研究機関。ブータンの生物多様性や林業、生態系に関する研究などを担当している。2016年に「ウゲンウォンチュク森林研究・研修所」に改称された後、2023年に農業省からエネルギー・天然資源省に移管された。主な活動は、省庁職員向けの短期研修の実施、ネイチャーガイド資格を取るためのプログラムの提供、出版物やワークショップを通じた科学的知識の普及活動など。職員数は約44名(技術者37名、その他7名)。2017年～2019年まで、前身のウゲンウォンチュク環境保護研究所で隊員1名(環境教育)が活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ウゲンウォンチュク森林研究・研修所の役割には、森林や動植物に関する研究、気候研究、人間と野生動物の衝突の緩和、持続可能な天然資源管理の促進などがある。急峻な山岳地帯や氷雪地帯、奥深い森林を有するブータンでは、GISやリモートセンサー、ドローン等を活用した調査が不可欠であり、これらのICT技術を使ったデータ収集・分析が進められている。しかし配属先には、収集したデータの活用やデータベースの整備について十分な知識・経験をもった人物が不足しており、配属先スタッフのICTに関する能力向上を支援するため、隊員が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先スタッフと協力しながら、下記の活動を行う

1. 配属先が所有するデータベースの整備
2. 配属先のウェブサイトやSNSの改善
3. GISやドローン、リモートセンサーに関する指導
4. 配属先スタッフへのICTの知識共有・技術移転

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机、プリンタ、GIS,リモートセンシング、ドローン、使用ソフトウェアはQGISやRなどのオープンソースソフトウェア

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

所長: 男性 50代 (博士)

カウンターパート: 男性 50代 (修士)

※配属先全体の人数は計44名

【活動対象者】
配属先職員、学生15名、外部からの研究者など

| 5) 活動使用言語 | 6) 生活使用言語 | 7) 選考指定言語 |
|-----------|-----------|-----------|
| 英語 | その他 | 英語(レベル:B) |

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）理工系 備考：同僚の学歴水準に合わせるため

[経験]：（実務経験）5年以上 備考：実践力が求められるため

[参考情報]：

・GIS・リモートセンサの知識が必須

・森林や環境保全に関する知見があると尚良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（-10～25℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

【特記事項】

- ・任地での生活使用言語は英語もしくはゾンカ語。ゾンカ語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。
- ・アパートは、配属先の敷地内にあるゲストハウスになる予定。
- ・[ウゲンウォンチュク森林研究・研修所HP](#)

【類似職種】